

## 評価結果の公表

### 施策名 協働による地域力が備わるまちづくり

#### 1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	くらしの健康
政策	支え合い学び合うまち
施策	協働による地域力が備わるまちづくり
主管部局	市民協働部
主管課	協働推進課
関係課	協働推進課

#### 2 施策が目指す大府市の姿

内容	市民一人ひとりが地域のために活動しており、市民、自治会、自治区、コミュニティ、NPO、ボランティア、事業者及び行政のそれぞれが協働し、地域の課題を解決する「地域力」が備わったまちになっています。
----	---

#### 3 令和3年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 3決算	R 4予算
(1)人件費	17,172	0
(2)事業費	81,525	886
フルコスト（歳出合計）	98,697	886
歳入（お金の出所）	R 3決算	R 4予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	7,158	0
(5)一般財源（市税収入など）	74,367	886
歳入合計	81,525	886

#### 4 「くらしの健康」指標（施策評価指標）

##### 有効性指標 1

指標名	自治会加入世帯率										単位	%
											現状値	57.8
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	58.0	59.0	60.0	61.0	62.0	63.0	64.0	65.5	67.0	68.5	70.0	
実績値	56.2	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	（自治会加入世帯数/住民基本台帳の世帯数）×100											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	高齢化の進行や単身世帯の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による行事の中止などにより、自治会加入世帯率が減少しています。一部では加入世帯率が増加している地区もありますので、好事例となる取組を共有する必要があります。また、アフターコロナを見据えて、各地区の行事は実施方法を工夫して、できる限り行っていく必要があります。											

##### 有効性指標 2

指標名	「自治会、自治区、コミュニティ、NPO、ボランティアなどの地域活動を行っている」市民の割合										単位	%
											現状値	24.7
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	25.0	25.0	26.0	26.0	27.0	27.0	28.0	28.0	29.0	29.0	30.0	
実績値	19.7	19.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査の「自治会、自治区、コミュニティ、NPO、ボランティアなどの地域活動」に「活動している」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	数値的な分析については、次回の市民意識調査の結果を待つ必要がありますが、引き続き、地域拠点施設である公民館や、市民活動の拠点である市民活動センターにおいて、人と人のつながりを維持・強化するために、様々な人の話を聞き、地域活動につなげていく必要があります。											

評価結果の公表

施策名 協働による地域力が備わるまちづくり

有効性指標 3

指標名	市民活動マッチング件数（年間）										単位	件
											現状値	38.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	
実績値	10.0	38.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	大府市民活動センターにおける人材、資材などの年間マッチング件数											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	単年度目標としては計画値を下回っていますが、前年度と比較した場合は大きく増加しています。コロナ禍においての市民活動が実施方法の工夫により、徐々に再開できるようになってきています。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
地域振興事業	協働推進課	51,754 (51,754)	指標名	自治区加入世帯率			妥当性	A
			単年度計画値	59.0			有効性	A
			単年度実績値	55.6			効率性	B
			単年度達成率	94.2%				
			最終目標に対する達成率	79.4%				
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 自治区加入世帯率の減少傾向が続いており、活動の縮小化や地域活動の担い手の負担増が課題となっています。地域社会及び地域活動を活性化させるため、自治区及びコミュニティ推進協議会への支援を継続する必要があります。また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた地域活動のノウハウが途切れないよう取り組む必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
市民との協働推進事業	協働推進課	9,875 (9,875)	指標名	協働推進のための会議等開催回数			妥当性	A
			単年度計画値	6.0			有効性	A
			単年度実績値	6.0			効率性	A
			単年度達成率	100.0%				
			最終目標に対する達成率	100.0%				
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 市民等による協働のまちづくりを推進するために、公開審査会方式による事業の継続が望まれます。協働企画提案事業に対して、今後の活動の継続性を見据えた事業計画を企画する団体が増加しています。今後も公益性が高く、協働の成果の高い市民ならではの事業を支援していく必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
市民活動センター事業	協働推進課	40,890 (40,890)	指標名	市民活動相談件数			妥当性	A
			単年度計画値	560.0			有効性	A
			単年度実績値	416.0			効率性	A
			単年度達成率	74.3%				
			最終目標に対する達成率	70.5%				
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 地域課題の解決や地域リーダーの協働意識の向上のための講座等を実施しており、協働の担い手育成に貢献しています。また、各種イベントに参画する新たな市民活動団体が増加しており、講座、イベントや相談等を市民活動センターで総合的に実施することで、市民活動団体の育成や発掘が進んでいます。なお、指定管理期間が令和4年度末までのため、指定管理者の選定準備が必要となります。								

## 評価結果の公表

### 施策名 協働による地域力が備わるまちづくり

#### 6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	高齢化や単身世帯の増加、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、人と人が繋がり、関わっていく機会が減少しています。同時に、ウィズコロナとして様々な工夫により実施することができた事業が増加しています。
施策の推進 に向けた 今後の方針	市民、自治会、自治区、コミュニティ、NPO、ボランティア、事業者及び行政が協働し、地域の課題を解決する「地域力」が備わったまちを目指すため、アフターコロナを見据えた地域活動の実施により、人と人とのつながりの再構築を図ります。

## 評価結果の公表

### 施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

#### 1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	くらしの健康
政策	支え合い学び合うまち
施策	地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり
主管部局	市民協働部
主管課	協働推進課
関係課	協働推進課、子ども未来課

#### 2 施策が目指す大府市の姿

内容	生涯学習を通じた学びの循環により地域の絆を構築し、自ら学びを実践することで課題を解決する学習風土が醸成されています。
----	--

#### 3 令和3年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 3決算	R 4予算
(1)人件費	184,874	0
(2)事業費	72,492	90,719
フルコスト（歳出合計）	257,366	90,719
歳入（お金の出所）	R 3決算	R 4予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	5,859	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	3,543	0
(5)一般財源（市税収入など）	63,090	92,177
歳入合計	72,492	92,177

#### 4 「くらしの健康」指標（施策評価指標）

##### 有効性指標 1

指標名	「サークル活動や習い事など、文化活動・生涯学習に取り組んでいる」市民の割合										単位	%	
											現状値	26.3	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	27.5	27.5	29.0	29.0	31.5	31.5	33.0	33.0	34.0	34.0	35.0		
実績値	21.6	21.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査で「サークル活動や習い事など、文化活動・生涯学習に取り組むこと」に「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	数値的な分析については、次回の市民意識調査の結果を待つ必要がありますが、アフターコロナを見据えて新たな目線を加えた講座等の実施により、数値の上昇を目指す必要があります。												

##### 有効性指標 2

指標名	地域・社会活動に参画した高校生・大学生の延べ人数（市及びコミュニティ事業）										単位	人	
											現状値	800.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	900.0	850.0	850.0	900.0	900.0	1,000.0	1,100.0	1,200.0	1,300.0	1,400.0	1,500.0		
実績値	338.0	752.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	「青少年健全育成推進事業」のうち、高校生・大学生が関わった人数												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの縮小や中止があり、実績値が計画値に達しませんでした。												

評価結果の公表

施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

有効性指標 3

指標名											単位	
											現状値	0.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
生涯学習機会 拡充事業	協働推進課	19,196 (19,196)	指標名	生涯学習プラン重点講座実施回数			妥当性	A
			単年度計画値	35.0			有効性	A
			単年度実績値	28.0			効率性	A
			単年度達成率	80.0%				
			最終目標に 対する達成率	56.0%				
<b>事務事業の方向性</b>								
B：現状のまま継続 市民の意識向上や地域課題の解決を目的とする、民間等が取り扱わない事業のため、市が実施する必要があります。生涯学習活動や地域活動拠点としての公民館を中心とした地域活動の推進が望まれており、国や県の動向を注視しながら、地域力の向上に資する事業を展開する必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
青少年支援事業	子ども未来課	7,430 (7,430)	指標名	若者を主体とした会議への参加者数			妥当性	A
			単年度計画値	410.0			有効性	A
			単年度実績値	322.0			効率性	A
			単年度達成率	78.5%				
			最終目標に 対する達成率	238.5%				
<b>事務事業の方向性</b>								
A：拡大 事業を拡大し、高校・大学生等による市への政策提言「若者会議」を実施します。政策立案を通して若者の自己肯定感を育むとともに、将来のまちづくりを担う人材を育成します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
地域の教育力 向上事業	子ども未来課	5,536 (5,536)	指標名	ひまわり委員の人数			妥当性	A
			単年度計画値	410.0			有効性	A
			単年度実績値	428.0			効率性	A
			単年度達成率	104.4%				
			最終目標に 対する達成率	101.9%				
<b>事務事業の方向性</b>								
B：現状のまま継続 新型コロナウイルス感染症拡大による活動の制限はありますが、感染症対策を実施し、地域の見守り活動、ボランティア等事業を継続して実施します。								

評価結果の公表

施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
公民館等生涯学習機会提供事業	協働推進課	21,633 (21,633)	指標名	公民館等利用者数	妥当性	A
			単年度計画値	365,000.0	有効性	A
			単年度実績値	174,358.0		
			単年度達成率	47.8%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	54.2%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 市民ニーズに沿った事業を実施するため、広くニーズ把握に努める必要があります。また、中学生学習支援「まなポート」の実施により、学習の習慣付けを行い「生きる力の醸成」の一助とするとともに、地域で生徒の成長を支える仕組みを提供できましたが、まなポートの利用を希望する方のために、継続して実施することが望まれています。						
大府公民館事業	協働推進課	27,877 (27,877)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	4,320.0	有効性	B
			単年度実績値	1,922.0		
			単年度達成率	44.5%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	44.5%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 地域からも事業を継続することが望まれています。市民ニーズに沿った事業を実施するため、広くニーズ把握に努める必要があります。						
横根公民館事業	協働推進課	26,790 (26,790)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,750.0	有効性	A
			単年度実績値	802.0		
			単年度達成率	45.8%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	45.8%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 地域からも事業を継続することが望まれています。市民ニーズや地域課題の解決に向けた事業を実施するため、広くニーズや地域課題の把握に努める必要があります。						
神田公民館事業	協働推進課	28,666 (28,666)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,800.0	有効性	A
			単年度実績値	1,031.0		
			単年度達成率	57.3%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	57.3%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 令和3年度に改訂した大府市生涯学習プラン2030に基づき、「誰一人取り残さない」生涯学習を推進するため、幅広い事業展開や誰もが学べる機会の創出に努めます。						

評価結果の公表

施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
北山公民館事業	協働推進課	27,305 (27,305)	指標名	公民館講座の受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,900.0	有効性	A
			単年度実績値	1,161.0		
			単年度達成率	61.1%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	61.1%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 地域からも事業を継続することが望まれています。市民ニーズに沿った事業を実施するため、広くニーズ把握に努める必要があります。						
東山公民館事業	協働推進課	25,638 (25,638)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	4,050.0	有効性	A
			単年度実績値	1,548.0		
			単年度達成率	38.2%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	38.2%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 地域からも事業を継続することが望まれています。地域課題の解決につながり、かつ市民ニーズに沿った事業を実施するため、地域課題とニーズ把握に努める必要があります。						
共長公民館事業	協働推進課	24,740 (24,740)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	2,290.0	有効性	B
			単年度実績値	1,003.0		
			単年度達成率	43.8%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	43.8%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 地域からも事業を継続することが望まれています。市民ニーズに沿った事業を実施するため、広くニーズ把握に努める必要があります。						
長草公民館事業	協働推進課	25,045 (25,045)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,940.0	有効性	A
			単年度実績値	1,335.0		
			単年度達成率	68.8%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	68.8%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 地域からも事業を継続することが望まれています。市民ニーズに沿った事業を実施するため、広くニーズ把握に努める必要があります。						

評価結果の公表

施策名 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名	値		
吉田公民館事業	協働推進課	20,758 (20,758)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	3,050.0	有効性	A
			単年度実績値	2,030.0		
			単年度達成率	66.6%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	66.6%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 少子高齢化が進んでいる地域であるため、積極的に世代間交流事業などを実施し、地域のつながりづくりに努めます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名	値		
森岡公民館事業	協働推進課	29,973 (29,973)	指標名	公民館講座受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,540.0	有効性	A
			単年度実績値	731.0		
			単年度達成率	47.5%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	47.5%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 地域からも事業を継続することが望まれています。市民ニーズに沿った事業を実施するため、広くニーズ把握に努める必要があります。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となりましたが、ウィズコロナとして実施方法を工夫し開催することができた事業も増加しました。今後も新たな目線を加えた様々な事業を展開していく必要があります。
施策の推進に向けた今後の方針	生涯学習を通じた学びの循環により地域の絆を構築するとともに、自ら学びを実践することで課題を解決することを目指して、講座など様々な学習機会を提供するとともに、地域づくりへの参加につなげるよう促す必要があります。



評価結果の公表

施策名 国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	くらしの健康
政策	支え合い学び合うまち
施策	国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり
主管部局	市民協働部
主管課	文化交流課
関係課	文化交流課、子ども未来課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	国籍や性別などに関わりなく、市民一人ひとりがお互いを尊重しながら支え合う、暮らしやすいまちになっています。
----	---

3 令和3年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 3決算	R 4予算
(1)人件費	41,597	0
(2)事業費	99,394	7,891
フルコスト（歳出合計）	140,991	7,891
歳入（お金の出所）	R 3決算	R 4予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	3,470	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	1,914	2
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	6,807	0
(5)一般財源（市税収入など）	87,203	2,257
歳入合計	99,394	2,259

4 「くらしの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「国籍による文化や価値観の違いを互いに認め合うことが大切だと思う」市民の割合										単位	%
											現状値	46.7
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	47.0	47.0	48.0	48.0	49.0	49.0	51.0	51.0	53.0	53.0	55.0	
実績値	46.7	46.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査で「国籍による文化や価値観の違いを互いに認め合うことが大切だと思う」ことに「大切である」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	おおむね目標は達成できています。引き続き、啓発等により目標値を達成できるよう取り組んでいきます。											

有効性指標 2

指標名	大府市国際交流協会のボランティア登録者数										単位	人
											現状値	157.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	160.0	160.0	170.0	180.0	190.0	200.0	210.0	220.0	230.0	240.0	250.0	
実績値	139.0	142.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点の大府市国際交流協会のボランティア登録者数											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの活動自粛等の影響により、ボランティアを募集する機会が減ったため、計画値を達成することができませんでした。											

評価結果の公表

施策名 国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり

有効性指標 3

指標名	「職場や社会で活躍する女性が増えていると思う」市民の割合										単位	%
											現状値	58.2
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	59.0	59.0	60.0	60.0	61.0	61.0	63.0	63.0	64.0	64.0	65.0	
実績値	55.9	55.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査で「職場や社会で活躍する女性が増えていると思う」ことに「増えていると思う」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、女性の多くが就業しているサービス業等が経済的な打撃を受けており、活躍する機会が減ったことや、女性は非正規雇用で就労している割合が高いため、女性により負荷がかかっていることから計画値を達成することができなかったと考えられます。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
多文化共生事業	文化交流課	21,687 (21,687)	指標名	市公式ウェブサイト多言語情報提供数	妥当性	A
			単年度計画値	130.0	有効性	A
			単年度実績値	249.0	効率性	A
			単年度達成率	191.5%		
			最終目標に対する達成率	415.0%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 外国人市民が日本語を学習することのできる貴重な場である日本語教室は、ボランティアにより運営されているため、継続的な開催を支援するとともに、担い手不足を解消するため、ボランティアを育成する必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
国際交流教育推進事業	学校教育課	62,186 (62,186)	指標名	英語検定受検料補助金申請者数（市による受検料負担分含む）	妥当性	B
			単年度計画値	270.0	有効性	A
			単年度実績値	360.0	効率性	A
			単年度達成率	133.3%		
			最終目標に対する達成率	120.0%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 今後の状況に心じて、小学生の英語、国際理解への取組などの事業拡大を検討します。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
男女共同参画推進事業	子ども未来課	12,742 (12,742)	指標名	おおぶ男女共同参画ネットワークが行う行事の参加者数	妥当性	A
			単年度計画値	1,330.0	有効性	A
			単年度実績値	183.0	効率性	A
			単年度達成率	13.8%		
			最終目標に対する達成率	13.1%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 新型コロナウイルス感染症による女性への影響として就業形態の脆弱性による貧困、社会的つながりの欠如がみられます。また、売春防止法が廃止となり、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されます。今後は状況を確認しながら、プランVI「さんかく！おおぶ」の部分改訂を実施していきます。						

評価結果の公表

施策名 国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
石ヶ瀬会館施設運営事業	子ども未来課	35,643 (35,643)	指標名	石ヶ瀬会館利用者数	妥当性	A
			単年度計画値	100,200.0	有効性	A
			単年度実績値	35,511.0		
			単年度達成率	35.4%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	35.2%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少していますが、人と人のつながりづくりの場の必要性が増していると認識しています。市内の高校生や大学生に石ヶ瀬会館を知ってもらうことをはじめ、若年層への働きかけを推進していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
人権擁護事業	福祉総合相談室	8,111 (8,111)	指標名	人権教室開催回数	妥当性	A
			単年度計画値	8.0	有効性	A
			単年度実績値	8.0		
			単年度達成率	100.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	100.0%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため多くの事業が中止になりましたが、令和3年度は街頭啓発や研修会等実施できた事業もあり、人権啓発を推進することができました。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、事業を推進していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
都市間交流事業	文化交流課	4,703 (4,703)	指標名	都市間交流事業参加者数	妥当性	B
			単年度計画値	210.0	有効性	B
			単年度実績値	27.0		
			単年度達成率	12.9%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	12.9%		
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 人を集めたり双方の都市を訪問したりする事業の実施が困難な状況ではありますが、訪問によらない交流や密回避等の感染症対策を行った交流を実施することにより、多様な文化に触れる機会を通じて市民の本市への愛着の醸成を図るとともに、本市のにぎわいや活力を高め、豊かな市民生活の実現を目指していく必要があります。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	外国人市民が増加傾向であることや、ライフスタイルの多様化が進んでいることで、身近な暮らしの場面でのトラブルが発生しています。そのため、地域とともに暮らす市民としての相互理解が求められています。
施策の推進に向けた今後の方針	国籍や民族などの違い、生活スタイルの違いなどにかかわらず、お互いを尊重し、共に安心して暮らしていける地域社会の実現に向けた取組を推進します。